



友愛の森(二中だより)



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造
令和7年10月2日発行

合唱の思い出

校長 山元 勝久

10月9日の希翔祭文化の部が近づいてきました。朝から学校中に歌声が響き渡っています。どの学級も自分たちの合唱をよりよいものにしたいという意欲と、合唱を心から楽しんでいるように私には感じられます。9月30日の全校集会では、かつて私が担任をした学級の文化祭で起きた出来事を話させてもらいました。

20年以上前に、ある中学校で3年生の担任をしていた時の出来事です。文化祭の2日前にN君が突然、虫垂炎（盲腸）を発症してしまい、文化祭に参加できなくなりました。N君は男子パートのリーダーで、誰よりも大きな声で歌っていました。音がとれない子、やる気がない子にも真摯に向き合って声をかけ続けてくれる大きな存在でした。そんなN君が参加できないのはとても残念でしたが、相手が病気ではどうしようもありませんでした。合唱を含む文化祭のプログラムを終え、教室で帰りの会を行っているとき、学級委員の2人から、「先生、N君が退院して学校に戻ったら、ちゃんと3年3組の合唱をやらせてほしい。みんな同じ気持ちです。」と申し出がありました。文化祭の翌日以降、他の全てのクラスから合唱練習の歌声が消えましたが、3年3組の練習だけは継続しました。1週間ほどしてN君が退院して登校できるようになりました。

傷口が痛むN君の回復のため更に1週間の練習期間を経て、「3年3組合唱完全版」を行いました。本番通りの入場、曲紹介、そして本番以上の合唱…観客は私一人。歌い終えた生徒の表情はみな満足感で輝いているように見えました。自分の想像を超える“生徒が作り出す美しい光景”に立ち会えたことに心から感謝しました。

この時に、生徒から「他者を大切にするために、【前例にとらわれず行動を起こすこと】の尊さ」を教えてもらったこの出来事は、私にとって、とても大切な思い出です。

希翔祭実行委員の皆さんを中心に、「去年と同じ」ではなく「去年以上に生徒や保護者、先生方のみんなが楽しむことができる充実した希翔祭」を目指し奔走しています。自分たちの創意工夫と行動力で二中文化を発展させようとしています。

「それでこそ二中生！」と心の中でいつもエールを送っています。

区長会をはじめ来賓の皆様、保護者の皆様、希翔祭にぜひ足を運んでいただき、生徒の一生懸命な姿を見届けていただきたいと思います。



昨年の希翔祭「文化の部」の様子

希翔祭 決起集会を行いました! (9月19日)「文化の部」10月9日「運動の部」10月24日

希翔祭に向けて、決起集会が行われました。スローガン「sketch」のもと、生徒主体の行事の完成を目指し、一人一人輝ける行事になるよう頑張りましょう。

今年の「文化の部」も、昨年度に引き続き学校体育館での開催となり、生徒の皆さんのアイデアや工夫をする力を発揮する良い機会です。富士宮第二中学校最大の行事を、皆さんで力を合わせて盛り上げていきましょう。決起集会での「声出し」では、「白軍」がやや？優勢でした。でも、両軍、ここからがスタートです。さて、希翔祭、どちらの軍が最高に輝くか？！



【文化の部実行委員長 塚田 芹椰さん】

希翔祭文化の部実行委員長を務めます、塚田芹椰です。いよいよ文化の部に向けての準備が始まり、各クラスの合唱曲も決定しました。文化の部は、ビブリオバトル、平和派遣事業の報告、各クラスの合唱発表など、内容盛りだくさんの行事です。スローガン『sketch』のもと、私たち中学生の豊かな個性を描き出す舞台になると考えています。

一人ひとりの思いや創造性が集まって、素晴らしい作品やパフォーマンスが生まれることを願っています。全校のみんなが協力して、一つの大きな作品を作り上げていく、そんな希翔祭にしたいと考えています。これからの準備期間では、クラスや学年ごとに工夫や個性を発揮しながら、みんなでアイデアを出し合い、形にしていきたいです。「見せるため」だけではなく、「一緒に作ることを楽しむ」そんな文化の部にしたいと思っています。また今年は、有志発表もできるようになりました。各々準備した発表を見るのが楽しみです。

一人ひとりが全力を尽くし、全校みんなで最高の希翔祭文化の部にできるように文化委員長として、準備や当日の運営などを全力で取り組みたいと思います。

【運動の部実行委員長 立石 咲恵さん】

希翔祭運動の部、実行委員長の立石咲恵です。私はこの運動の部を、二中史上最高のものにしたいです。そのために私は練習から全力を尽くし、どんなことにも挑戦してみようと思います。希翔祭運動の部は、私にとって毎年一番楽しい行事です。三年生にとっては中学校生活最後となるため、絶対に楽しくて熱い、最高の運動の部にしたいと考えており、この行事を成功させるために全力を尽くします！私が考える『最高の運動の部』とは、どんな結果が出ても、終わった後、クラス全員が笑顔になってみんなで笑い合いながら、最後は全員で『楽しかった！』と言える、思い出に残る、そんな希翔祭運動の部だと考えています。

それを実現するためには、当日だけではなく、当日までクラスや同じ軍の仲間と練習や作戦会議を通して、団結力を高めること、それに加え、一人ひとりが与えられた自分の役割を果たすことも大切になってきます。優勝を目指すことはもちろん大切ですが、全校生徒が成長しながら希翔祭運動の部を終えられるように、生徒会本部役員をはじめ、専門委員長や、各学年の学年委員と協力しながら全校を引っ張り、運動の部までの準備を大切にしていきたいです。最後まで全力でやりきって、二中ならではの最高の運動の部を全員で作ります！！